

九州大学における性の多様性に関する基本方針

令和4年2月14日
九州大学

九州大学は、明治44年（1911年）の創設以来、創造性と多様性を尊重し、自由闊達な学風に基づく知の探究を推進してきました。

九州大学は、人間の尊厳を守り、生命を尊重することを『教育憲章』において、また、開かれた大学と、人類の未来を託するに足る人材の養成を『学術憲章』において定めています。そして、2011年の創立百周年には、「常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究・教育拠点となる」という基本理念を掲げ、2021年11月の指定国立大学法人の指定を契機に、多様な「知」と「人材」を結集し、新たな価値創造の基盤となる研究とイノベーションの創出を牽引し、「総合知で社会変革を牽引する大学」となることを目指す「Kyushu University VISION 2030」を策定しました。

これらの理念及びビジョンに照らし、九州大学は、様々な個性を持つ学生及び教職員すべてが尊重され、誰もが自分らしく過ごせるキャンパスを確保する責任があると考えています。

人間の性は多様であることを理解し、性別、性的指向や性自認等にかかわらず、すべての学生及び教職員が、その個性と能力とを十分に発揮できる環境の実現のため、九州大学は以下の基本方針を掲げます。

人間の性は多様であることを理解し、性別、性的指向や性自認等に関する

- (1) 差別やハラスメントを禁止します。
- (2) 自己決定を尊重します。
- (3) 修学・サービスの妨げとなっている心理的・物理的な障壁を取り除きます。
- (4) 学生及び教職員への理解を促進します。